



ここが
聞きたい

一般質問



1. 中村 清隆 …… P11

- ①学童保育所の現状と課題について
- ②市内の公園計画・管理について

2. 下山 昭博 …… P11

- ①本市の支援を必要とする児童の現状及び児童生徒の特別支援教育の今後について
- ②買い物困難者の現状とその対応について

3. 森上 晋平 …… P12

- ①本市におけるRPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)の活用について
- ②本市における自治体業務の効率化について

4. 梶本 博 …… P12

- ①「福津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の実現で期待される効果と地域の活性化について
- ②郷づくり基本構想について

5. 戸田 進一 …… P13

- ①産業廃棄物処理場に対する住民の不安解消について
- ②買い物支援活動の更なる拡充・推進について
- ③地域での住民のつながりについて

6. 秦 浩 …… P13

- ①ため池周辺の防災について
- ②避難所の設置場所やゲリラ豪雨等の災害対策について

7. 八尋 浩二 …… P14

- ①残土条例等の制定に向けて
- ②農業活性化とふるさと納税について

8. 横山 良雄 …… P14

- ①津屋崎ヨットハーバー利用の改善と海洋観光の施策について
- ②高齢社会に対応する計画について

9. 米山 信 …… P15

- ①子育て世代包括支援センターについて
- ②公害防止協定等の締結について

10. 蒲生 守 …… P15

- ①災害時のごみについて
- ②県が市に移管する道路について
- ③建築物の耐震改修の促進に関する法律における避難路沿道建築物について

11. 田中 純子 …… P16

- ①持続可能な下水道事業について

12. 石田 まなみ …… P16

- ①若木台周辺の道路の改善について
- ②公共施設の公衆無線LANサービスについて

13. 福井 崇郎 …… P17

- ①第2次福津市都市計画マスターplanについて
- ②市における環境保全の取り組みについて
- ③学校教育におけるICT学習環境の整備及び活用について

14. 尾島 武弘 …… P17

- ①SDGsについて
- ②市民農園について

15. 中村 晶代 …… P18

- ①障がい者福祉に関する助成制度について
- ②訪問介護を行う事業所の駐車許可申請について
- ③買い物弱者への取り組みについて

16. 植村 公彦 …… P18

- ①オウム真理教教団から分派したひかりの輪福岡福津施設に対する観察処分について
- ②高齢者の安全運転について

一般質問の詳細は、福津市議会ホームページをご覧ください。

質問者ごとに一般質問を録画配信しています。公開は、各定期会後の4年間です。
(検索方法は19ページに掲載)

福津市古墳キャラクター
ふんちゃん



質問

3つの未整備都市 計画公園の今後は

答弁 都市計画変更も視野に入れた課題のひとつだ

問 公園は、足りているのか。

答 津屋崎地区では、若干不足していると認識している。

問 宅地開発に伴う公園整備で、管理等困っている公園はあるのか。

答 不整形地になることもあり、狭く利用もなく、管理費が必要となることもある。

問 狹い公園は何箇所あるのか。

答 市全体で、34箇所程度あり、最近の開発では、92mなど小さい公園が3か所ある。



中村 清隆



昭和55年開所。老朽化している神興小の学童保育所

答

問 神興小学校学童保育所は、築約39年経過しているが、建替えは。

答 利用率は6割程度で、児童が多い時は、保育園のホールを保育室として、受け入れていると認識。

答 大規模改修で、維持を図る方向。



下山 昭博

児童生徒の 支援教育について

質問

答弁 支援教育における人材の確保と育成に努める

問 幼児教育における対応及び支援体制について問う。

答 大和保育所では、複数体制で保育を実施している。神興幼稚園では、集団生活を送る中で補助の先生で支援サポートを行っている。更にのびのび発達支援センターと連携している。

問 児童生徒の支援教育における個人カルテの作成、引継ぎや活用等について問う。

答 個別の保育計画や教育支援計画を作成し、小学校への引継ぎ等に活用している。



特別支援にも力を注ぐ大和保育所

答

問 住みたい街への想いが持続する本市の今後の方策について問う。

答 支え合い協議体や事業者等と連携して、地域課題解決に取り組む。見守り体制の整備、安心して生活できる環境整備に努める。



森上 晋平

市役所の業務効率化について

RPA導入を前提に業務改善に取り組む

市役所の業務効率化について

RPA導入を前提に業務改善に取り組む

問

RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）やAI等の先端技術を活用して、市役所の業務効率化を行う意思はあるか。

答

宗像市や糸島市を参考にしてノウハウの共有を図る。またふくおか電子自治体共同運営協議会の実証実験の経過を見つつ、導入するかしないかの判断をする。

問

RPAを導入するかどうかの判断基準は何か。

答

RPAを導入するかどうかの判断基準は、「行政サービスの確実性の担保」



テクノロジー × 地方創生

問

先端技術を活用した業務改善を行う為には市役所の業務フローやマニュアルを整備する必要があると考える。市の考えは。

である。

答

今後は財政調整課を中心にRPAを導入することを前提で業務改善や事務事業の検証を行わねばならないと考える。業務フロー及びマニュアルについてもRPAの導入を前提に検証推進する事が重要だと考える。業務の見直しが市民サービスの向上につながることを庁内で共有して改革を進める。本市が他市に立ち遅れないよう広域連携や技術の活用を通じて、市役所の業務改善に努める。

観光客受け入れのための施設整備は

進めたいと
思っている

観光客受け入れのための施設整備は

進めたいと
思っている

問

外国人客が増えている中で洋式トイレの要望が出ていると思われるが、本市は全くこれに対応していないという話を聞く。宗像市では世界遺産登録直後から整備を起こない、観光施設関係のトイレの洋式化は90%が完了していると聞く。本市での整備はどうされるのか。また、観光と福祉ということで、第一次観光基本計画に盛り込むとの事だが、観光に伴なつて洋式トイレにしたり、バリアフリーにしたり、設備を充実させることで障害者や高齢者に対応していくといふ観点からの回答を期待していた。この問題は待ったなしの可能性がある。市の考えは。

問

RPAを導入するかどうかの判断基準は何か。



宮地浜にある、市の公衆トイレ

質問

外國人客が増えている中で、最も必要なものは何か、市長の考えは。

答

市民とより良い交流ができ、幸福・満足度が増える福津ならではの観光施策を進める事だと思ってる。



榎本 博

答

洋式の便器がないことは把握している。観光地の公衆トイレについては老朽化や使用頻度など、いろいろ問題がある。市としては洋式トイレは必要だと捉えている。見直しについては優先順位を決め、進めていきたい。

質問

買い物支援活動の拡充・推進を

答弁

安定的に継続できる体制整備等は進めたい



戸田 進一

現在行っている「移動販売」等の安定的な継続のために、市としてすべき支援策を二点提案する。一点目は今の活動を広く知りせ、必要な地域に広げ地域のボランティアの組織や販売場所（公民館の使用等）の整備をはかること。二点目は冷蔵車の貸与など事業者支援を強め、商品の品揃えなどの強化をはかること。商品の品揃えの強化は、利用者の利便性の向上となり利用者増につながる。そして、結果的に移動販売事業の安定的な継続の保障になると思うが、市の見解は。

問

▼産廃処理場に対する住民の不安解消について

問

合っていく。移動販売事業が継続できる体制整備等を進めていかなければと考えているが、移動販売は始まつたばかりなので、二点目の提案は、今後の検討課題と思う。



移動販売の準備中（原町公民館）

質問

市内のため池周辺の防災について

答弁

ため池90カ所のハザードマップを作成する



秦 浩

ため池周辺のハザードマップを作成するか伺う。

市内にため池は112カ所ある。防災重点ため池に選定された90カ所のハザードマップを作成する。

問

ため池の耐震調査を行ったか伺う。

答

市内にあるため池8カ所の耐震調査を実施した。その結果4カ所

について基準値を満たない事が判明した。今後の方針としては県営ため池事業として県農林事務所と協議を進めていきたいと考えている。

問

▼避難所の設置場所やゲリラ豪雨等の災害対策について

問

指定避難所等が高潮の被災想定区域の中にあることについて伺う。



宮司の新堤池

質問

提案内容については、進めるよう、府内関係部署に指示する。

消防ホースは予算の範囲内で確保していただきたい。

消防団の機材等は充実しているかを伺う。

答

消防団の機材等は充実しているかを伺う。

▼農業活性化とふるさと納税について



八尋 浩二

質問 残土条例等の条例制定を早急に

答弁 現段階ではいろんな条件を勘案しても難しい

問 残土条例等を制定している市町村は全国にたくさんある。条例を研究して、廃棄物関連や資材置き場等が出来る際、土砂が搬入搬出される際、保管する際、条例で規制できる。市民の不安を取り除くべきと考える。市の考えを伺う。

答 現在、市には環境創造条例と福岡県土砂埋め立て等による災害の発生の防止に関する条例で規制をしている。提案されている条例等が市にとって必要か、内容を精査研究したい。



福津市特産のクリームスイカ

問 市の特産品であるクリームスイカはふるさと納税で人気の返礼品だが、生産者減少のため数量限定となっている。市の特産品の生産を維持するためにはJAと連携を図ることや返礼品への出品協力を促すことや新規就農者等に生産を求める対策が必要と考える。市の考えを伺う。

答 JA等の関係団体と協議する場を設け生産者の声を聞き、生産量の維持をして頂きたいと強く希望しております。また継続していくための対策についても協議し、クリームスイカを守っていくよう努めていきたいと思う。

問 現在、ヨットハーバーの改善点は。

答 浮桟橋や牽引車などの老朽化対策、上げ下ろしクレーンの運用見直し、電源コンセントの設置、水道利用、3号浮桟橋におけるヨットドボートの混在解消、安全確保、防犯夜間照明、夜間のトイレやシャワーの利用、入退門のカードキー化等の要望を検討する。

答 津屋崎ヨットハーバーやお魚センターうみがめ、県営津屋崎漁港



津屋崎ヨットハーバーを海の駅へ

質問 津屋崎ヨットハーバーの利用改善は

答弁 利用者アンケート調査でサービス改善を検討

問 ヨットハーバーの改善点は。

問 次期計画は、市民や事業者と如何に向き合って計画を作るのか。

答 郷づくり支援課としても、関係の協議会とお話をしていくればと思つていい。



横山 良雄

問 高齢社会に対応する計画について

答 市民ニーズを把握して策定する。

問 市民参画の観点から、郷づくりの部会に「観光地域ブランド部会（仮称）」の設立をお願いして、観光施策のご提案など、ご尽力いただけないか。

などの一体的な活用による観光振興を図りたい。

質問

子育て世代包括支援センターは

答弁

現在準備中であり、令和2年度中に開設予定



米山 信

答

同センター設置の目的は、妊娠初期から子育て期まで切れ目のないワンステップで包括的な相談体制を整えることにある。設置までの進捗状況は、また相談・支援体制を確保するために必要なスタッフの配置及び関係部署の共働と連携は、どのようになるのか。

関係部署で協議を行ない、令和2年度中に開設予定である。関係部署や関係機関の会議を利用し、支援プラン策定にかかるなど共働連携していく予定である。

この業務に必要な専門職として、保健師・保育士・助産師・精神保健福祉士・社会福祉士・管理



子育て世代包括支援センターの設置は

答
市内の産業廃棄物処理業者7業者のうち2業者と締結している。今後も同協定の締結については県条例を遵守して、許認可権者である福岡県と連携を図り、対処していく。



蒲生 守

答

災害廃棄物を円滑に処理していくために、マニュアル等を整備していく必要がある。整備をしていく中で、災害発生時の廃棄物について、さまざまなかつらや組織に対し協定を締結し、より実践的なものにしたいと考えている。現在、

被災時に近隣自治体によるごみの受け入れ協定や福岡県産業資源循環協会による廃棄物の撤去、収集、運搬、処分について協定を締結している。他市と既に協定を締結している

答
大規模風水害が起った場合、災害ごみの処理は急務になる。これに対応する計画の検討を担当課だけでなく、府議に提案をして、全庁的に協議していきたい。

質問

災害ごみの処理対策は

答弁

市議の場に提案し、協議していきたい



例) 災害ごみの集積場所

問

新栄環美事業協同組合と締結に向けて話を進めている。

答
津屋崎地域で2カ所、福間地域で4カ所設置するように計画をしている。

問
整備のために予算が必要になる。災害はいつ起こるかわからぬ早い対策を。



田中 純子

質問

下水道事業の市民への啓発を

答弁

イベントや学校での出前講座等を検討する

問

私たちの生活に欠かせない水。特に下水道事業は大変重要であり、人口増加を見据えた対策も必要である。持続可能な下水道事業のために何う。(1)下水道事業の現状と課題は。(2)人口増加に伴う計画、持続可能な事業にするための取り組みは。

答

①平成30年度末の下水道普及率は約98%。水洗化率は約89%。課題としては、施設面では管路の老朽化や、雨水・污水など管に流入する不明水の対策工事が必要。下水道の適切な使用方法などが行き渡っていない。(2)福間浄化センターに5つの処理池を増設中。



下水道に流してはいけないもの

問

今夏、子ども達と一緒に浄水場見学を行い、大量の油や紙おむつ等が流れ、処理に時間とお金がかかっていること、処理費用が1日150万円、年間約6億円かかることを知った。また、福間南郷づくり環境景観部会では、愛媛県工業技術センターで開発されたマイエンザという微生物活性酵素を10年前から作っている。微生物の力で、家庭の排水口や下水路、河川をきれいにする働きがある。これら情報を、市民や子ども達にも知らせていくべきでは。

下水道の日の時期にチラシを配布、出前講座で周知しているが、今後はイベントも検討。マイエンザについてはもう少し調査したい。

答



石田まなみ

質問

若木台周辺の道路の改善について

答弁

子どもや高齢者が歩きやすい環境は大切

問

JR東福間駅西側の踏切から県道福間宗像玄海線を結ぶ交差点は見通しが悪く、右折しづらい状況だが改善策はあるのか。

答

踏切の立地条件で改良計画が立てられなかつたのが現状だが、踏切の手前に注意喚起を促す方法を検討していく。

若木台には細い歩道があり、雨天の時は傘をさして歩きにくい事もある。市としての対応策は。また神興東小学校の通学路では車と接触しそうな箇所があり、登校時にパトロールをしている親の不安な思いは市に伝わっているのか。



歩きづらい歩道の改善を

答

▼公共施設の公衆無線LANサービスについて

通常時の会議の利用や災害時の情報取得の面など、導入は有意義であると考えるが市の考えは。

答

初期費用や維持費などの経費、急速に進歩するICT技術やインフラ整備の動向などを視野に入れながら、公衆無線LANのあり方を整理し、研究していく。

問

神興東小学校に面した、狭くて危なかった道路が今年度整備される。今後も通学路の安全確保だけでなく、高齢者にも安全安心な環境づくりを市民と一緒にやって取り組んでいく。



福井 崇郎

答 観光基本計画の審議会中ではあるが地域総体産業と位置づけている。観光に取り組むことで、全産業が活性化し、総体産業が生まれ循環していく。津屋崎地域は自然環境、伝統文化など資源が多く残る地域であり、「字びの場」を通じて活性化を行う。この取り組み

問 デンマークのコペンハーゲン市では観光戦略として「観光の終わり」を宣言し、地域住民や企業、そこに訪れる人が一体となって観光をつくりっている。津屋崎地域は観光をキーワードに活性化を計画している。本市のイメージする観光戦略とは。

答 デンマークのコペンハーゲン市では観光戦略として「観光の終わり」を宣言し、地域住民や企業、そこに訪れる人が一体となって観光をつくりっている。津屋崎地域は観光をキーワードに活性化を計画している。本市のイメージする観光戦略とは。

▼環境保全の取り組みについて

問 エネルギーの活用及びごみの減量回収の取り組みとして、どのような活動を実施しているのか。

答 現在、学校や公共施設等で蓄電池を活用し、太陽光発電を行っている。また、久末ダムでは環境水田として小水力発電の可能性を調査している。ごみの減量に関する調査はプラスチックごみが問題となっている。減らすための啓発や海岸清掃などを定期的に行っている。



尾島 武弘

答 農業振興や遊休農地解消の観点から、今後検討していく。

問 新原・奴山古墳群の世界遺産を中心とした持続可能な観光振興に取り組んでいくとしているが、どのように整備をしていくのか。

答 3000万円の補助金が出るモデル事業に選定されなかつたので、3カ年の事業費は予定より小さな金額になる。

▼市民農園について

問 あんずの里市民農園の利用者から、要望等の連絡先が分からぬという声があるが市の対応は。

答 連絡先記載の文書を出している。



自然と昔ながらのまち並みが共生する津屋崎地域

答 国に提出されたSDGs未来都市の提案書の中に、3カ年で7872万円の大きな事業費が組まれてるが必要額なのか。

答 市民や各種団体などと共働していく

質問
SDGs活用を
エスディージーズ



世界遺産：新原・奴山古墳群の展望台



中村 晶代

障がい者福祉の助成制度について

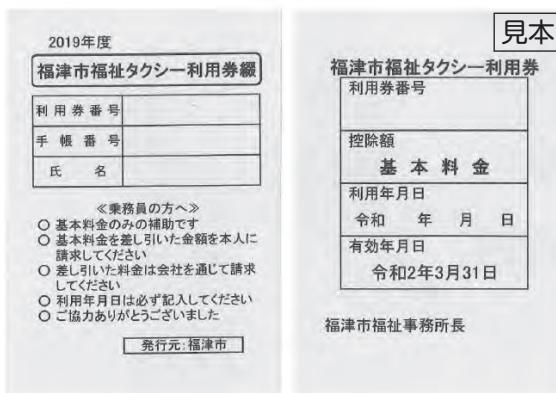
だつたが現在は5万円に減額されている。この制度の利用者は年間3名程度で市の財政を圧迫するほどの金額ではなく、就労する障害者にとっては必要不可欠な制度である。市の対応を伺う。

質問
答弁
次年度に向けて予算編成を含め検討していく

問
答
身体障害者へのタクシーチケットによる初乗り運賃の助成は、福津市と宗像市では使用できるが古賀市からは現在使用できない。古賀市に通院する障害者は多い。市の今後の対策を伺う。

問
答
身体障害者手帳1級2級の方に申請により配布しているタクシーチケットは、現在は古賀市のタクシー会社とは連携していないため使用できないが、今後は障害者の利便性向上のためにも前向きに協議していきたい。

問
改造費助成制度は、以前は10万円



福津市福祉タクシー利用券

質問
答
2年前に県からの助成は無くなつたが市の助成は維持している。次年度に向けて助成額の見直しも含め検討していきたい。

質問
答
介護事業所の訪問介護中の駐車許可の申請、及び駐車場の確保についての市の対応は。

質問
答
駐車場の確保は、警察署との連携、公共施設や地元住民への協力を依頼していく。



桝村 公彦

高齢者の安全運転支援装置補助は

質問
答弁
補助金のあり方も含め調査研究を進める

質問
答
高齢者の運転免許返納も多くあるが、どうしても車を必要としておられる方もいる。高齢者が加害者にも被害者にもならない取り組みが必要である。高齢者が安全運転できるように急発進防止装置や安全運転支援装置のドライブレコーダーの補助金事業の創設の考えはあるのか。

質問
答
交通事故死亡者が、ゼロに近づくような施策を福津市として進めている。補助金のあり方についても調査研究を進める。



うきは市高齢者安全運転装置設置促進事業補助金の案内

▼オウム真理教教団から分派した「ひかりの輪」の福岡福津施設に対する観察処分について

問
公安審査委員会は、1月22日、教団について6回目の観察処分の3年間更新を決定している。これ

に対し「ひかりの輪」は、同決定取消しを求める訴訟を提起した。この施設の存在を含め、トラブルや事件が発生すると、地域の住民だけでなく本市にとどても、マイナスイメージとなる。地域の声を聞き、関係団体に働きかけ、不安や恐怖感を解消してもらいたいが。

質問
答
オウム真理教対策関係市区町連絡会が全国で組織されている。地元の要望、状況を逐次入手し情報を共有し対応していく。